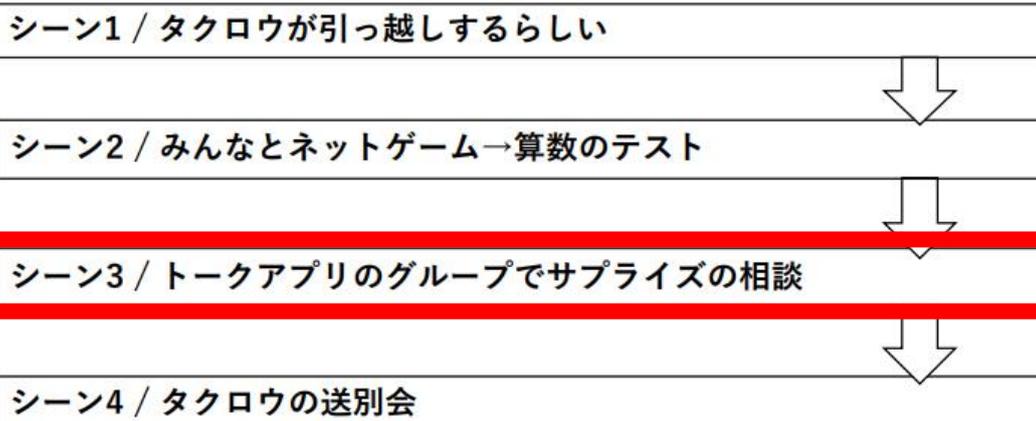


小中学生向けストーリー

登場人物



全体の流れ



シーン3

タクロウのお別れ会のためのサプライズ企画をトークアプリで話し合うシーン。話し合っているうちに、ヨウヘイが無視されていると感じてトラブルに……。

体験型 Web 教材で台本のようにストーリーを進めるため、朱書き部分の選択が必要です。

- ①下校中のサプライズ提案シーン(選択肢なし)
- ②トークアプリでサプライズの相談シーン(選択肢なし)
- ③教室・下校時の会話シーン
「ふざけたりしてこまるよね？」に対して【うん、こまるよね】を選択
- ④トークアプリで曲について相談するシーン
「どんな曲にしようか」に対して【お別れの曲】を選択
「なぜ無視する？」に対して【どう返事していいか分からなくて】を選択
「みんなすれ違ったままで終わってしまった」のシーンで終了

【下校中のサプライズ提案シーン】

ナレータ：そして数日後の帰り道。

ケイ：やっほー、みのる。ちょっと話があるんだけど。

ユミ：・・・

ケイ：・・・ほら、ユミが考えたんだから、ユミからいいなよ。

ユミ：あ、うん！

ユミ：・・・あの、実はね。ケイとおもしろいこと考えたんだ。

ユミ：・・・あの、ほら。タクロウが引っ越しするから。

ユミ：・・・その、サプライズ、みたいな事をさ、したいなって。

ユミ：・・・どう思う？

ケイ：簡単に言うと、タクロウのお別れ会の時に、私たちが秘密の出し物をしようって話。

ケンタ：え、なにそれ。おもしろそうじゃん！

ケイ：あ、ケンタ。聞こえてた？

ケイ：ケンタもやる？

ケンタ：やるやる！なあ、ヨウヘイもやろうぜ。

ヨウヘイ：うん、オレもやるー！。

ヨウヘイ：・・・って何やるの？

ケンタ：タクロウのお別れ会で、何か面白いことをしようって話！

ヨウヘイ：・・・まてまて。オレはやらねーし。

ケイ：え、いいじゃん。一緒にやろうよ。

ヨウヘイ：・・・って、うっそー。やるやる！

ヨウヘイ：オレもやる！

ケイ：じゃあ、みんなと一緒にサプライズ企画を考えよう！

ケイ：トークアプリのグループを作ってあるから、帰ったら皆を招待するね。

【トークアプリでサプライズの相談シーン】

ナレータ：ケイに誘われてトークアプリのグループに入った。



ナレータ：サプライズの話はそんな風にトークアプリで進んでいった。

【教室の会話シーン】

ケイ：おはよー！

ケイ：あのさ、相談があるんだけど。

カオル：お、また何話してるの？

ケイ：カオルは口が軽いから教えないよ！

カオル：なんだよ、冷たいな。

ケイ：みのる、帰り道に話すね。

カオル：ははーん、なるほど。

カオル：お別れ会でなんかやろうって話をしてるんでしょ？

カオル：ケイはそういうの好きだからなー。

カオル：前にケイと同じような企画したけど、トークアプリでケンカになって結局失敗したんだ。

カオル：だからオレは誘われなかったのかも。

カオル：オレはそういうの苦手だからいいんだけどね。 がんばれよー！

【下校中の会話シーン】

ケイ：…昨日の話合いだけどさ。ヨウヘイの発言、どう思った？

ケイ：サプライズの話をしているのに関係ないこと言ったり、ふざけたりしてこまるよね。

みのる：うん、こまるよね。

ケイ：だよね！ユミもそう思ったよね？

ユミ：あ、うん。

ユミ：ちょっと気になる、…かも。

ケイ：だよね！ヨウヘイの話に付き合ったら進まないから、私はサプライズの話だけするね。

ケイ：聞いてくれてありがとう！今日も帰ったらトークアプリで話そうね！

【部屋】

ナレータ：さて、今日もトークアプリでサプライズ企画の話合いだ。

【トークアプリで曲について相談するシーン】



【部屋】

ナレータ：その後も話合いが続き、皆すれ違ったままで終わってしまった。